

## (オサカ病院 全身麻酔説明書)

全身麻酔（意識がなくなる）及び麻酔、手術に関連する偶発症について

- （全身麻酔とは）手術をしている間、眠って頂く麻酔方法。
- まず心電図、血圧計などを装着、酸素投与し、点滴から痛み止め静脈麻酔薬を投与。
- 次に吸入麻酔薬を投与し眠って頂くので手術は気がつかないうちに終了（目が覚めれば手術は終了しています）。
- 眠った後、咽頭鏡を使用してから、口から喉、気管まで息を助ける器具 **（気管内チューブ、ラリングルマスク）**を挿入。
- 上記はこの器具は手術が終了した後、麻酔から醒めて、呼吸状態が安定していれば取ります。
- 術中に術後の痛み止めとして神経ブロック注射（大腿神経ブロック等）を併用することもあります。
- 入れ歯、ブリッジ等外れる歯は手術直前にはずして保管をお願いします。

## (偶発症)

- 安全を確保するべく万全の対策を講じていますが、**医療行為は100%安全であるとはいえません。**麻酔、手術中に予期せぬ偶発症が生じる可能性は御理解下さい。下記に説明する偶発症により色々な事が生じる可能性、危険性があります。
- 全身麻酔後に比較的起きやすい偶発症**  
眠気、吐き気、めまい、声のかすれ、喉の痛み、夜間せん妄状態の発生（高齢者は認知症の発現、悪化）（ご家族さんに御協力をお願いする場合があります）。
- 全身麻酔後に比較的まれな偶発症**  
口唇、歯牙の損傷、頭痛、無気肺、腎機能低下症、肝機能障害により（抗生剤を変更する可能性もあります）。喘息や心臓病など手術前からある疾患の悪化や再発
- 全身麻酔後にも起こりえる、更にまれな偶発症**
- （呼吸器合併症）**胃内容物の逆流による窒息、肺炎（誤嚥性肺炎）、無気肺、肺水腫、気胸など（肺炎が生じれば抗生剤を変更して治療する可能性があり入院期間の延長やリハビリの遅延が考えられます）。
- （循環器合併症）**不整脈、心筋梗塞、心不全、心停止、**肺梗塞、血栓症**など
- （中枢神経系合併症）**脳梗塞、脳出血など
  
- 悪性高熱症**（全身麻酔剤のアレルギー、1000 万分の 1 以下の確率で起こりえます。）家族性に生じる病気と言われており発症すれば麻酔中止、手術中止となります。
- 薬剤に対するアレルギー反応、末梢神経や脊髄の障害なども起こることがあります。
- 不測の事態に対しては適宜最善と思われる処置、対応をさせていただきます。

(説明日) 年 月 日 (説明者)